



しんいち



市川のほそだ伸一です。

皆さまこんにちは、ほそだ伸一です。

熊本地震で被災された方々へ心からお見舞いを申し上げます。

いよいよ6月の定例会(議会)が始まります。市川市議会では6月、9月、12月そして2月と年4回の定例会(議会)が開かれます。この定例会は市川市役所本庁舎議会棟5階にある本会議場という場所で行われ、我々議員はもちろん市長をはじめ副市長、各所管部署の部長全員(理事者といいますが)が出席し我々議員からの質問に対し理事者側からの答弁が行われ、よりよい市政に向け活発に議論が交わされます。今回のかわら版では、3月末閉会の2月定例会で私ほそだ伸一が「会派自由民主党市川」の代表として代表質問をいたしましたので、そのご報告です。質問内容は大きく分けて以下の通りです。

○安心安全なまちづくり 空き家対策について

全国的に数万件という空き家があり、倒壊や火事の危険だけでなく、とある空き家の中から比較的新しい手りゅう弾が見つかるなど犯罪の温床にもなりかねない。

○障がいのある子供の成長に応じた適切な支援について

市川市内で現在障がい者手帳をお持ちの方は、身体障がい者

11,470名、知的障がい者2,725名、精神障がい者1,764名です。特に精神障がいの方は季節の変わり目などにその症状が発症しやすく暴力的になる場合があります。そのようなご家庭への支援策について。

○教育行政 正しい「食」のありかたについて

我々日本人が育んできた米食文化、食の大切さを学校教育を通して子供たちに伝えていきたい。

○子供の姿 豊かな心、道德教育の推進について

子供とは未来そのもの、子供たちの豊かな心を育むにはどのような教育が必要なのか。

その他、下水道未普及地域、活力あるまちづくりに向けて企業誘致やインフラ整備などの市の考え方を約70分にわたり質問いたしました。これからも地域の皆さまの声を行政に届けるよう努力してまいります。何かお気づきの点などございましたら地元のほそだ伸一までお気軽にお声がけいただければ幸いです。

私以外の議員による一般質問抜粋

- 血清研究所跡地にある「赤レンガ」建造物の保存に関する市の考え方
- 行徳野鳥観察舎の再開・存続についての市の考え方
- 大洲、市川南で発生した悪質な落書き事件の市の対応について
- 市内小中学校での「手話」の普及について
- 生活困窮世帯等の子供への学習支援について
- 道の駅「いちかわ」(仮称)の進捗状況、今後の予定について
- 生活保護不正受給に対するの対策について
- 塩浜学園(小中一貫校)の現状と進捗状況について
- 塩浜護岸整備について

ほそだ伸一

1965年3月16日 市川市生まれ

- 市川市議会議員
- つくし幼稚園・平田小学校・第八中学校・明治大学法学部卒
- 実家は新田4丁目にあった三葉食肉店
- あさつての市川を考える会 代表・市川食育いいね!倶楽部 代表



オフィシャルサイト



フェイスブック

